

東一条通の交通事情改善について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2017年4月27日）

ご承知の通り、毎日多くの学生が吉田南キャンパスと本部キャンパスの行き来のために東一条通を渡っています。

しかし、公道である東一条通は頻繁に車の往来があり、交通整理員が配置されてはいるものの、安全とは言い難い状況にあります。大げさに言えば大学構内の行き来で交通事故にあたり、場合によっては命を落とす危険性があるということです。

日本を代表する大学である京都大学がこのような状況を放置してきたことは信じがたいことです。国内外のトップレベルと呼ばれる大学に比べると京大は敷地が狭い上に、東一条通と今出川通によってキャンパスが分断されているため、行き来に支障をきたしているのはご存知の通りと思います。障害者支援の観点から見ても見過ごせない問題です。最終的には、市や地権者などと交渉の上、東一条通を大学の敷地に含め、キャンパスと一体のものにしていただきたきたいと思います。

しかしそれには時間がかかるでしょうから、より現実的な方法として、以下の提案をいたします。

- ・ 正門前に信号付き横断歩道を設ける
- ・ 正門を改修し、間口を広げる
- ・ 昼休みのみ、東山東一条以东を交通封鎖する

「たかが道路」かもしれませんが、東一条通は、少なくとも学部1回生の間は京大生全員が通行します。学内の大多数の学生に関係することですから、この問題に取り組む価値は十分にあると考えます。信号機の設置などは、国際高等教育院や国際科学イノベーション棟の建設の何分の一かの予算でできるのではないのでしょうか。

東一条通は明らかに学内の往来のボトルネックになっています。対応をお願いしたく存じます。

【回答】（回答日：2017年5月8日）

（学生担当理事・副学長 川添信介）

貴重なご意見をありがとうございます。

学生諸君のキャンパス移動にともなう東一条通の往来の安全性については、大学としても重要な課題と認識しています。抜本的な解決をすぐ実現するのは難しい課題ではありますが、様々な角度から有効な解決策を検討し、学生諸君の安全と利便性を確保するために引き続き取り組んで参ります。